

意見交換会（３）を開催しました！！

本意見交換会では、長岡天神駅周辺まちづくりの実現化に向けた取り組みとして、まちづくりに関わる優先的・集中的に事業検討を行う『重点整備地区（たたき台）』を提案し、関係住民と意見交換を行いました。

意見交換会（３）は、令和２年２月２６日から２月２９日にかけて全９回開催し、案内を受けた４６７名の方々の内、８０名の方が参加されました。

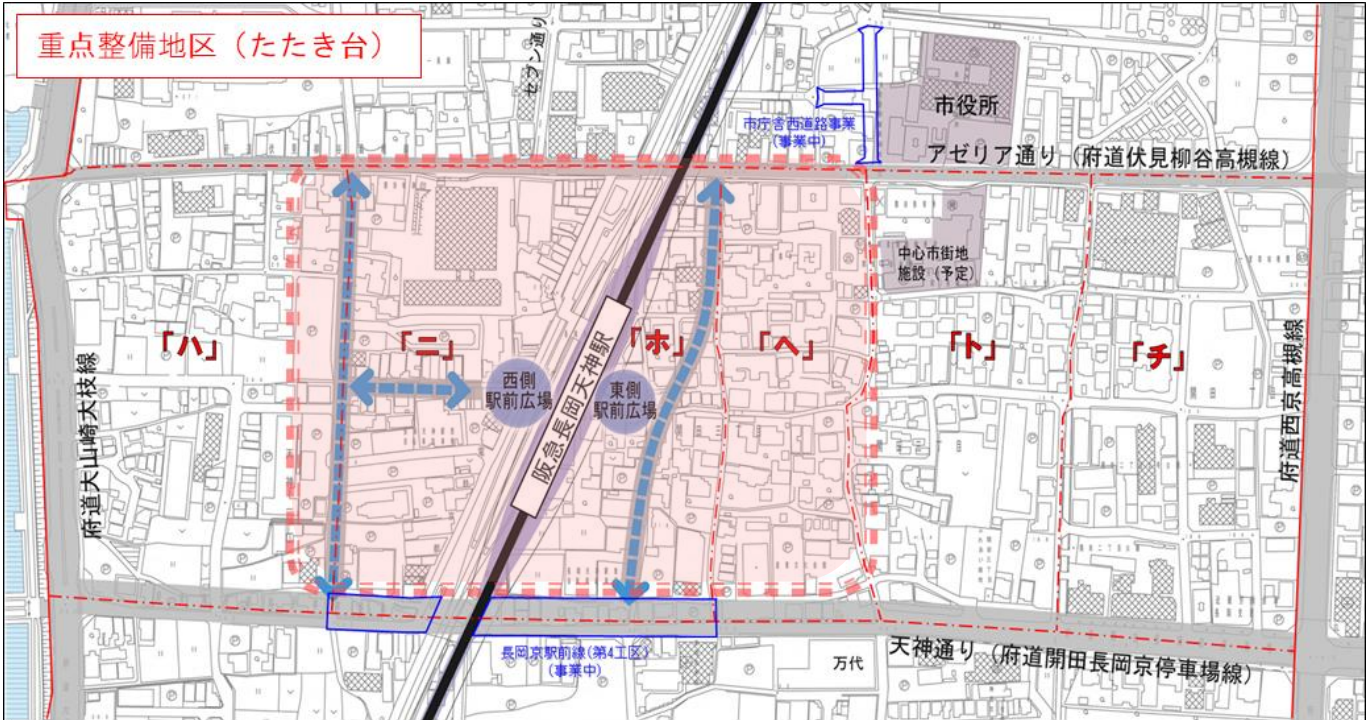


【主な内容】

『重点整備地区（たたき台）』は、土地区画整理事業を主体とする面的整備の必要性が高い地域です。
今後、当該地区内のまちづくりについてより具体的な議論を重点的・集中的に行っていきます。

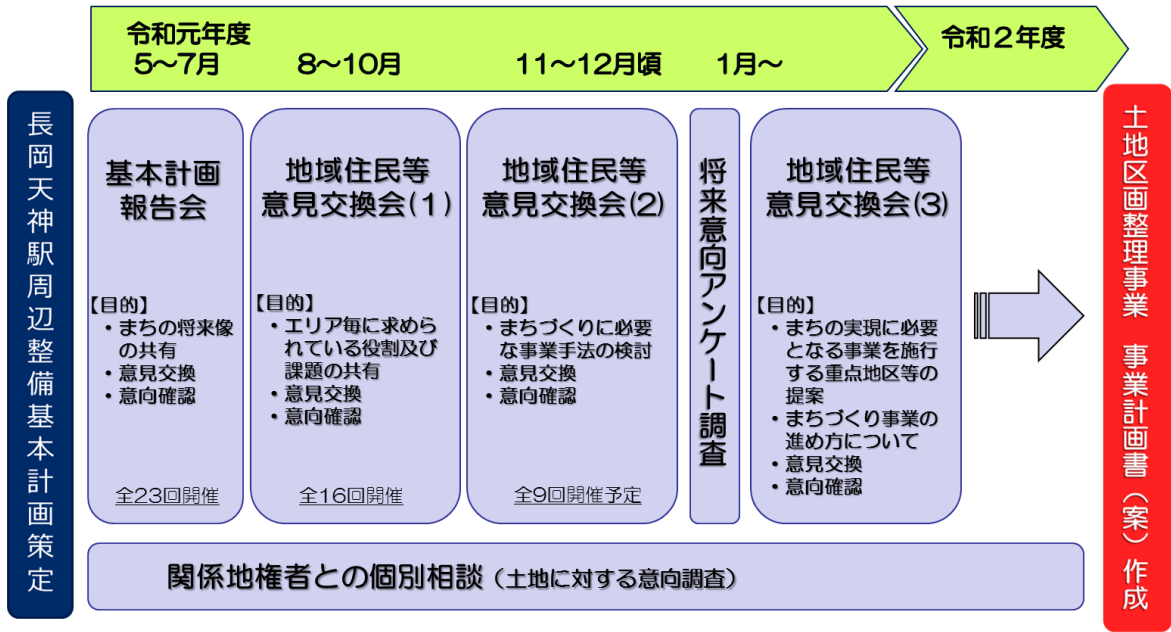
【重点整備地区の考え方】

- ◆面的整備（土地区画整理事業）の必要性が高い区域
- ◆重要な都市施設を含む一体の区域
- ◆基本計画の実現に向けて一体的市街地整備が都市計画上重要な区域



【今後のまちづくりの進め方について】

重点的・集中的に事業を検討する『重点整備地区（たたき台）』の事業手法・事業展開・整備時期等を具体化した事業計画（案）の作成を目指します。



【主な意見】

参加者



鉄道高架は決定したのか。鉄道高架化が遅れる場合は、他の主要事業も遅れるのか。

長岡京市



連続立体交差事業は、事業主体は府となる。現在事業化に向けた協議を府、阪急電鉄、市で実施している。
京都府も事業の必要性は認識している。
今後、重点整備地区内のまちづくりをより具体化し、連続立体交差事業と密接に連携した手戻りのない効果的な事業展開を決定し、着手していきたい。

参加者



まちづくりの方向性は理解できるが、自身の土地がどうなるのか。
立ち退きなどになる場合、それは何時なのか。具体的な内容を説明して欲しい。

長岡京市



今回、まちづくりについての具体的な議論を重点的・集中的に行っていく『重点整備地区』を示し、来年3月迄には、本地区内をさらに細分化し、地区内の皆様の意向も踏まえた事業手法、事業展開を具体化していきたい。

参加者



重点整備地区外のまちづくりはどう考えているのか。

長岡京市



『重点整備地区』以外のエリアにおいても、エリアごとに抱えている問題・課題がある中、土地区画整理事業区域から除外する手続きを進めていくのではなく、課題解決に向け、代替整備手法も含めた最適なまちづくり手法の検討を地域住民と一緒に協議し検討を進めていきたい。